

様式第 6(第 5 条関係)

移送取扱所変更許可申請書

1 年 月 日 2 殿 3 申請者 住所 (電話) 氏 名				
4 設 置 者	住 所	電 話		
	氏 名			
変 更 の 内 容		変 更 前	変 更 後	変 更 の 理 由
5 設 置 場 所	起 点			
	終 点			
	経 過 地			
6 配 管	延 長	km	km	
	外 径	mm	mm	
	条 数	条	条	
設 置 の 許 可 年 月 日 及 び 許 可 番 号		7 年 月 日 第 号		
8 危 険 物 の 類 、 品 名 (指 定 数 量 及 び 化 学 名 又 は 通 称 名)				
9 指 定 数 量 の 倍 数				
1 0 危 険 物 の 移 送 量		kl / 日	kl / 日	
1 1 ポンプの種類等	種類・形式			
	全 揚 程	m	m	
	吐 出 量	kl / 時	kl / 時	
	基 数	基	基	
そ の 他 の 位 置 、 構 造 及 び 設 備		1 2		
着 工 予 定 期 日		1 3		
完 成 予 定 期 日		1 4		
そ の 他 必 要 な 事 項		1 5		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		※ 手 数 料 欄
		許 可 年 日 許 可 番 号		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 この設置許可申請書は、移送取扱所に用いるものであること。

3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

4 設置場所の欄中、起点及び終点の欄には、起点又は終点の事業所名を併記し、経過地の欄には、配管系が設置さる市町村名を記入すること。

5 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。

6 ※印の欄は、記入しないこと。

7 総務大臣に申請する場合は、収入印紙(消印をしないこと。)をはり付けること。

〔移送取扱所変更許可申請書記入要領〕

1. 申請日（申請書提出日）を記入する。
 2. あて先は、「東京消防庁 消防総監＊」と記入する。島しょ地区の場合は「東京都知事」と記入する。
 3. 「申請者」欄は、危険物施設を設置しようとする者の住所、氏名を記入する。
申請者が法人の場合は、名称、代表者氏名及び事務所の所在地を記入する。
申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付するとともに、申請書の「申請者」欄は連名とする。（委任状は設置許可申請時の記載例参照）
 4. 「設置者」欄は、当該危険物施設の設置者の住所、氏名を記入する。法人の場合は名称、代表者氏名及び事務所の所在地を記入する。
 5. 「設置場所」欄は、当該危険物施設の起点、終点、経過地を記入する。＊
 6. 「配管」欄は、延長、外径、条数を記入する。
 7. 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該危険物施設の設置許可年月日・番号を記入する。
 8. 「危険物の類、品名（指定数量）及び化学名又は通称名」欄は、法別表に掲げる類、品名を記入する。
 9. 「指定数量の倍数」欄は、法別表に掲げる指定数量で割った数値を記入する。
 10. 「危険物の移送量」欄は、1日に移送する危険物の量の合計を記入する。
 11. 「ポンプの種類等」欄は、ポンプの種類・形式（設置するすべての種類のポンプを記入）、全揚程（吸入面から吐出口まで）、吐出量（時間当たりの量）、基数（種類ごと）記入免する。
 12. 「その他の位置、構造及び設備」欄は、位置、構造、設備の変更事項を簡記し、項目が多い場合は、「別紙のとおり」として、別紙に記入し添付する。
 13. 「着工予定期日」欄は、「許可後即日」又は「許可後何日」等と記入する。
 14. 「完成予定期日」欄は、「着工後何日」等と記入する。
 15. 「その他必要な事項」欄は、「船舶のポンプにより圧送する」等記入する。
- ＊：稲城市又は他県の部分がある場合は、消防署へおたずね下さい。